

編集後記

色とりどりの数多くの花が咲き競い、日本中が、今は1年中で最も快適な季節なのであろう。それにしても、今年の冬は寒くて長い、苦しい冬であった。折しもこの後記を書いている時に、本誌創刊以来の編集顧問水野祥太郎先生の御急逝の訃報に接した。先生の長年に亘る御指導にあらためて深謝するとともに、御冥福を心からお祈り申し上げる次第である。先生の直接の死因は肺炎と発表されているが、その原因となったものは心筋梗塞であったとのことである。今月の特集は奇しくも冠動脈疾患のリハビリテーションである。

わが国における入院期間は欧米に比して著しく長いので、心筋梗塞の治療の中で、急性期の入院治療が占める比重は著しく大きい。本特集では、国立循環器病センター・斎藤宗靖氏の具体的で極めて明快な「心筋梗塞症患者急性期のリハビリテーション」論文を中心に、その前段として、埼玉医大・土肥豊氏の、高血圧、脂血症、肥満、糖尿病、その他、の冠動脈疾患の危険因子に対する運動負荷の効果に関する興味ある展望が記され、後段には、ライフプランニングセンター・道場信孝氏の「心筋梗塞慢性期のリハビリテーション」外来での運動処方とその実際の述べられ、さらに昭和大学新谷内科・長谷川武志

氏・他による、教室での長年に亘る臨床的研究の follow-up をまとめられた「心筋梗塞のリハビリテーションと長期予後」および、東京医歯大胸部外科・岡村高雄氏・他による「冠動脈外科手術後の長期予後」、これはわれわれ門外漢にとっては大変興味をそそられる点なのであるが、以上2篇が対比して記されている。

以上を一読することによって、冠動脈疾患のリハビリテーションの現状と問題点を的確に把握することができるであろう。

巻頭言の竹内馬左也氏もまた、心疾患のリハビリテーションの重要性を説き、心疾患のリハ・センター設立の要を強調された。

講座は「運動療法とその背景」、「リハ医のための人類遺伝学：遺伝性骨・軟部系統疾患」の2本が、今月号でともに最終回を迎えた。ともに有益な、好評の講座であった。代って、来月からの講座には「言語の評価」、「合併症の障害学」の2本が登場する。乞う御期待である。

研究と報告、紹介、症例報告が今月号では各1題である。

投稿原稿の集まり具合は比較的良好であるが、今後もひきつづき優れた論文の御投稿を期待している。

(横山 巖)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
杉 山 尚
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
加 倉 井 周 一
賀 集 竹 子
河 邨 文 一 郎
小 島 蓉 子
五 味 重 春
齊 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 田 玲 子
高 橋 勇
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 欽
橋 倉 一 裕
長 谷 川 恒 雄
林 玉 子
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
渡 辺 英 夫
(五十音順)

(細田, 山田)

次号予告 (第12巻 第7号)

特 集	物理療法	
	物理療法最近の動向……………七沢病院	福 井 園 彦
巻 頭 言	埋め込み電極刺激による麻痺筋駆動	
	について……………都心身障害者福祉センター	今 村 哲 夫
研究と報告	慢性関節リウマチの極低温運動療法……………国立伊東病院	橋 本 明・他
	水中運動の生理と臨床応用……………北大・温泉治療研	阿 岸 祐 幸・他
紹 介	国際義肢装具協会第4回世界大会に出席して	
	(義手・義足最近の傾向)……………中央鉄道病院	佐 藤 和 男
講 座	肢体不自由児の栄養摂取状況	
	について……………沖縄整肢療護園中部分園	大 城 秀 子・他
一 頁 講 座	鹿児島県の公共施設における障害者対策の現状：	
	建築年次と障害者対策の関連について……………鹿大・霧島分院	川 平 和 美・他
講 座	半側空間失認に対する車椅子の工夫……………七沢病院	前 田 真 治
	脳卒中リハビリテーションにおける	
講 座	塩酸エペリゾンの有効性……………慶大	蜂 須 賀 研 二・他
	言語の評価 1：言語障害の評価：総論……………東京都・老研	笹 沼 澄 子
講 座	1：言語発達遅滞の評価……………国立リハビリセンター	小 寺 富 子・他
	合併症の障害学	
講 座	1：リハビリテーションにおける	
	合併症……………神奈川リハビリセンター	安 藤 徳 彦
一 頁 講 座	人工関節 7：人工膝関節……………横浜市大・整形外科	腰 野 富 久
	(編集頁の都合等により掲載が若干変更になることがあります。編集室)	